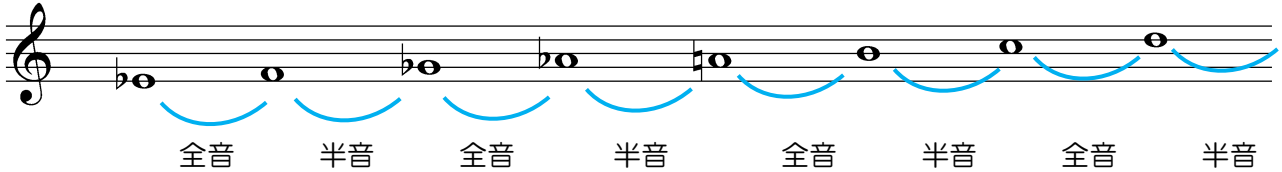


● Phrase No.1 3 下降（下行）の Passing Diminish I (III m7) - III bdim - II m7 - V7

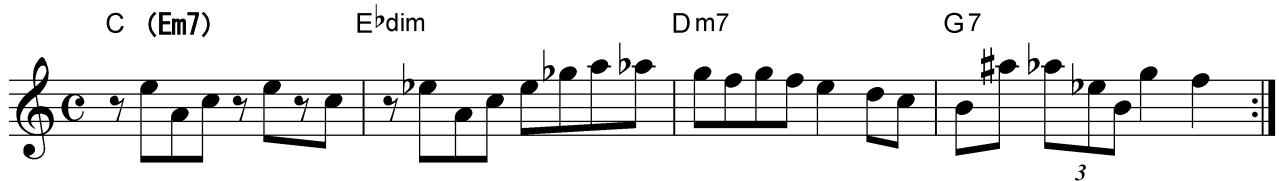
III bdim では Diminished Scale を使用します。この場合テンションでは考えない。

ルートから上へ、全・半・全・半・全・半・全・半です。

E^b Diminished Scale



ギターポジションは、Combination of Diminished Scale の形と同じになります。始まる場所が違うという事です。（コンディミの Diagram 参照）それと、上行の Passing Diminish は、ドミナントモーションになるのでテンションで捉えましょう。（スケールもドミナントモーションと一緒にです。）ここでの V7 は、Altered Dominant Scale を使用しています。



● Phrase No.1 4 下降（下行）の Passing Diminish I (III m7) - III bdim - II m7 - V7

E^b Diminished Scale をそのまま使用しています。V7 は、Altered のフレーズになります。I は、Lydian を使用しています。これを III m7 から見れば、E Dorian となります。（III m7 で Dorian の使用）



● Phrase No.1 5 下降（下行）の Passing Diminish I (III m7) - III bdim - II m7 - V7

Diminished Scale のシンメトリーなフレーズです。アンティシペーションに注意しましょう。（コンディミでも使えるフレーズです）V7 は、Altered Dominant Scale のフレーズになります。



● Phrase No.16 Whole Tone のフレーズ II m7-V7-I

V7で Whole Tone Scale (ホールトーン スケール) を使用。Whole Tone は、ルートから上に全・全・全・全・全スケール。当然テンションとして考えます。(b13は、#5と考える事も有る) また、Diminishと同様にシンメトリーです。Phraseとしてはそのまま Scale を弾いてます。

全音 全音 全音 全音 全音 全音

R 9th 3rd #11th b13th b7th R
(#5や aug の表示も有る)

Dm7 G7 C

● Phrase No.17 Whole Tone のフレーズ II m7-V7-I

V7で Whole Tone Scale (ホールトーン スケール) を使用。
8分音符の3つ取り、の一拍半のフレーズです。

Dm7 G7 C

● Phrase No.18 Whole Tone のフレーズ II m7-V7-I

V7で Whole Tone Scale (ホールトーン スケール) を使用。
16分音符の4つ取り、の一拍の長3度ずらしフレーズです。

Dm7 G7 C

● Phrase No.19 Combination of Diminished Scale のフレーズ II m7-V7-I

V7で Combination of Diminished Scale を使用。もっと、発展したフレーズは、ホームページ上の Combination of Diminished Scale01 (Y.Shimizu) を参照してください。

ルートから上へ、半・全・半・全・半・全・半・全のスケールです。シンメトリーフレーズです。

半音 全音 半音 全音 半音 全音 半音

R $b9^{th}$ $\#9^{th}$ 3rd $\#11^{th}$ 5th 13th $b7^{th}$

Dm7 G7 C

● Phrase No.20 Combination of Diminished Scale のフレーズ II m7-V7-I

V7で Combination of Diminished Scale を使用。やはりシンメトリーフレーズです。

Dm7 G7 C

● Phrase No.21 Combination of Diminished Scale のフレーズ II m7-V7-I

V7で Combination of Diminished Scale を使用。やはりシンメトリーフレーズです。

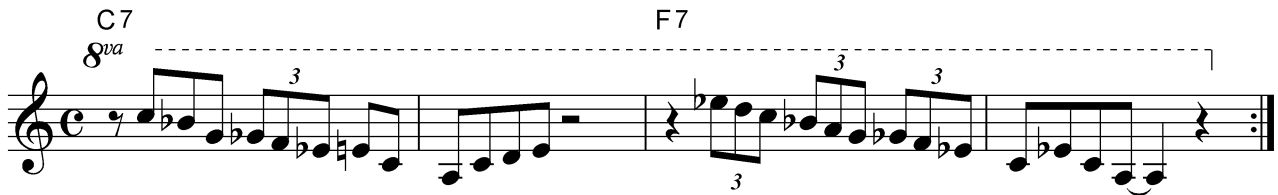
Dm7 G7 C

● Phrase No.22 Blue Notes のフレーズ I 7-IV 7

Blue Note については、基本的に I 7 も IV 7 も V 7 もキーで考えます。

そのキーの b 3、b 5、b 7 をブルーノートと言います。

ホームページの Basic Guitar Technique の Penta Tonic + (b 5) or (b 3) の Diagram 参照してください。



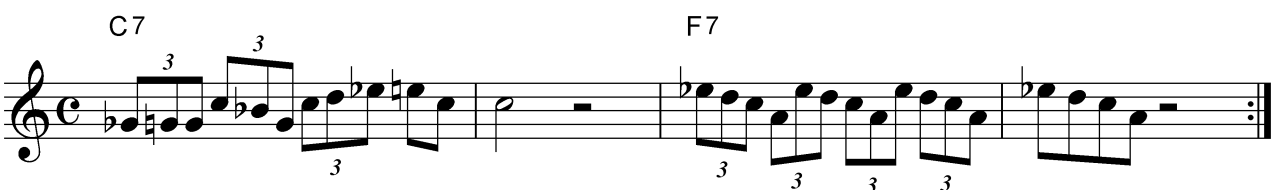
● Phrase No.23 Blue Notes のフレーズ I 7-IV 7

16 分音符は、スラーテクニックを使いましょう。



● Phrase No.24 Blue Notes のフレーズ I 7-IV 7

3 連符の 4 つ取りのリズムです。



※ Blue Note の更なる応用フレーズは、ホームページの ジャズ教則のブルースフレーズ集に載せてあります。ギターのパジションの Diagram も沢山掲載してあります。

この 24 のフレーズは、ジャズの基本フレーズです。早く、様々なポジションで弾けるようにしましょう。モード手法については、また別の考えです。